



文書タイトル  
**Landis+Gyr 代理人、販売代理店、再販業者行動規範 (Agent, Distributor, Reseller Code of Conduct - JP)**

文書番号  
**11-04-01-00-PY-2269**  
(Based on 11-04-01-00-PY-2264)

改訂番号:  
**1.0**

分類:公開

文書責任者:グローバルコンプライアンス

私の所属する組織、そのグループおよび関連会社(以下、第三者パートナー)を代表し、私は**代理人、販売代理店および再販業者対象 Landis+Gyr 行動規範**(以下、本規範)を受領したことを認めます。私は、本書により、Landis+Gyr を代表する際、または Landis+Gyr からもしくは Landis+Gyr に対して製品もしくはサービスを再販する際に使用する当社の各施設およびリソースが、本規範の条件および以下に要約される条件を遵守していることを確認します。

**雇用慣行:** Landis+Gyr は、当社のバリューチェーンで働くすべての労働者にとって公正で倫理的な職場がふさわしいと考えています。労働者は最大限の尊厳と敬意をもって扱われなければならない、第三者パートナーは基本的人権を尊重しなければなりません。

**安全衛生:** 第三者パートナーは、労働者に安全で健康的な職場を提供しなければなりません。業務に関連する傷病の発生を最小限に抑えるだけでなく、安全で健康的な職場環境は、製品やサービスの品質、生産の一貫性、労働者の定着率や士気を高めます。

**環境慣行:** 第三者パートナーは、適用される法令に従い、環境を保護および維持する方法で事業運営を行うものとします。

**倫理:** 第三者パートナーは、すべての事業取引において最高水準の誠実さを維持し、あらゆる形態の非倫理的な事業慣行に関して、ゼロ容認の方針を持たなければなりません。

**情報セキュリティ慣行:** 第三者パートナーは、第三者パートナーが事業を行う地域のすべてのセキュリティ法、またはそのような法律がない場合は業界のベストプラクティスに沿って、適切な技術的および組織的セキュリティ措置を実施するものとします。

**管理システム:** 第三者パートナーは、本規範および適用法令の遵守を奨励し、関連する業務リスクを特定および軽減し、継続的な改善を促進するための管理システムを確立するものとします。

私はさらに、Landis+Gyr との取引に関与する当社の取締役、労働者、サプライヤー、代理人、請負業者、人材派遣会社それぞれが、本規範を認識し、記載されている条件を遵守していることを認めます。

私は、最後に、これらの文書に規定された義務に違反した場合、Landis+Gyr が正当な理由をもって契約上の取り決めを終了する権利を有することを認めます。

氏名 : .....

役職 : ..... 署名 : .....

電子メールアドレス : ..... 日付 : .....

会社名 : ..... 会社印 :

会社住所 : .....  
.....  
.....



文書タイトル  
**Landis+Gyr 代理人、販売代理店、再販業者行動規範 (Agent, Distributor, Reseller Code of Conduct - JP)**

文書番号  
**11-04-01-00-PY-2269**  
(Based on 11-04-01-00-PY-2264)

改訂番号:  
**1.0**

文書責任者: グローバルコンプライアンス

分類: 公開

# Landis+Gyr

## 代理人、販売代理店、再販業者 行動規範

改訂	日付	作成者	備考
1.0	2025年3月1日	Howard Gibson	トピックの紹介、ベース文書の作成



文書タイトル  
**Landis+Gyr 代理人、販売代理店、再販業者行動規範 (Agent, Distributor, Reseller Code of Conduct - JP)**

文書番号  
**11-04-01-00-PY-2269**  
(Based on 11-04-01-00-PY-2264)

改訂番号:  
**1.0**

分類:公開

文書責任者:グローバルコンプライアンス

## 目次

1. はじめに.....	5
2. 第三者パートナーのコンプライアンス.....	5
3. バリューチェーンの意識向上とコンプライアンス.....	5
4. 雇用慣行.....	6
4.1. 児童労働.....	6
4.2. 現代奴隷制.....	6
4.3. 懲戒慣行.....	6
4.4. 労働時間.....	7
4.5. 賃金と手当.....	7
4.6. 差別禁止.....	7
4.7. 結社の自由.....	7
4.8. ハラスメント.....	7
5. 安全衛生.....	8
5.1. 危険に対するばく露.....	8
5.2. 緊急事態への備え.....	8
5.3. 業務上の傷病.....	8
5.4. 産業衛生.....	8
5.5. 身体的に負荷のかかる作業.....	9
5.6. 機械の保護.....	9
5.7. 衛生、食料、住居.....	9
5.8. 安全衛生コミュニケーション.....	9
5.9. 許可と報告.....	9
6. 環境慣行.....	9
6.1. エネルギー管理.....	10
6.2. 水管理.....	10
6.3. 廃棄物管理.....	10
6.4. 排出と汚染防止.....	10
6.5. 地域社会に悪影響を及ぼさない.....	10
6.6. 環境許可と報告.....	10
6.7. 材料の制限.....	11

7.	倫理 .....	11
7.1.	公正な事業、広告、競争 .....	11
7.2.	不適切な利益の禁止 .....	11
7.3.	情報開示 .....	11
7.4.	身元の保護と報復禁止 .....	11
7.5.	知的財産 .....	11
7.6.	プライバシー .....	12
7.7.	責任ある鉱物調達 .....	12
8.	情報セキュリティ .....	12
8.1.	セキュリティガバナンス .....	12
8.2.	研修 .....	12
8.3.	コンプライアンスのモニタリングと文書化 .....	12
8.4.	侵入検知と対応 .....	13
8.5.	事業継続と災害復旧 .....	13
9.	管理システム .....	13
9.1.	企業の取り組み .....	13
9.2.	経営陣の説明責任と責任 .....	13
9.3.	法的要件と顧客要件 .....	13
9.4.	リスク評価と管理 .....	14
9.5.	改善目標 .....	14
9.6.	コミュニケーションと研修 .....	14
9.7.	労働者のフィードバックと参加 .....	14
9.8.	監査と評価 .....	14
9.9.	是正措置プロセス .....	14
9.10.	文書と記録 .....	14



## 1. はじめに

Landis+Gyr Group AG (関連会社と総称して「Landis+Gyr」)は、適用されるすべての法令を遵守し、最高水準の企業行動と倫理基準に従って事業を展開しています。Landis+Gyr は、基本的人権と労働者の権利の尊重、厳格な健康、安全、環境基準を含む持続可能性にも取り組んでいます。

Landis+Gyr の代理人、販売代理店、再販業者行動規範(以下「本規範」)には、Landis+Gyr と各代理人、販売代理店、および再販業者(以下「第三者パートナー」)との協力関係を規定する中心的原則、主要な方針、および手順が記載されています。本規範は、Landis+Gyr の第三者パートナーがすべての活動を法律、[国連グローバル・コンパクト](#)および[責任ある企業同盟\(RBA\)](#)の原則に従って行うことを確保するものです。

本規範は随時修正される場合があります。すべての更新は、確認と署名のために第三者パートナーに共有され、Landis+Gyr のウェブサイトで公開されるため、第三者パートナーは定期的に改定を確認することをお勧めします。

## 2. 第三者パートナーのコンプライアンス

第三者パートナーは、事業を行うすべての地域において、適用されるすべての法令を遵守しなければなりません。第三者パートナーはまた、本規範の遵守を確保するための手順を確立するものとします。法律と本規範に記載された基準が矛盾する場合、第三者パートナーは最も厳しい要件に従わなければなりません。

Landis+Gyr は、第三者パートナーによる遵守確認の一環として、本規範を受領し、その条項を遵守していることを示す、第三者パートナーの署名入りの表明書を要求する場合があります。

法律により課される制限に従うことを条件として、第三者パートナーは、本規範が適用される問題に関連する懸念事項や不適合について、速やかに書面で Landis+Gyr の代表者に通知します。また、Landis+Gyr に影響を及ぼす可能性のある不正行為に関する懸念事項は、スピークアップシステムを通じて報告することができます。Landis+Gyr の方針では、このような懸念事項を誠実に報告した者に対する報復を禁じています。

Landis+Gyr は、第三者パートナーが本規範を遵守するよう、デューデリジェンスを実施し、常に監視しています。第三者パートナーが本規範を遵守しない場合、それは Landis+Gyr が正当な理由をもって第三者パートナーとの取引関係を終了させるのに十分な根拠となります。

## 3. バリューチェーンの意識向上とコンプライアンス

第三者パートナーは、Landis+Gyr とのすべての取引において、本規範を遵守しなければなりません。第三者パートナーはまた、Landis+Gyr と取引のある、またはその他 Landis+Gyr との取引に関与するすべての取締役、労働者、サプライヤー、代理人、請負業者、人材派遣会社に、本規範の原則と義務を遵守させなければなりません。



## 4. 雇用慣行

Landis+Gyr は、当社のバリューチェーンで働くすべての労働者にとって公正で倫理的な職場がふさわしいと考えています。労働者は最大限の尊厳と敬意をもって扱われなければならない、第三者パートナーは基本的人権を尊重しなければなりません。

### 4.1. 児童労働

Landis+Gyr は児童労働の使用を容認しておらず、世界中のいかなる施設においても児童労働を使用する第三者パートナーと契約することはありません。第三者パートナーは、業務が行われる国で就労に必要な最低年齢以上または 15 歳以上のいずれか高い方を満たす労働者を雇用しなければなりません。18 歳未満の労働者は、危険な作業や重機の操作を行ってはなりません。

Landis+Gyr は、適用されるすべての法律と本規範を遵守する限りにおいて、若者の教育的利益を目的とした正当な職場実習プログラムの開発を支援します。現地法がない場合、学生労働者、実習生、見習い労働者の賃金率は、同等または類似の業務を遂行する他の初級労働者と少なくとも同じ賃金率でなければなりません。

### 4.2. 現代奴隷制

電気、ガス、水道の計測ソリューション製造における世界的な業界リーダーとして、Landis+Gyr は、世界中の奴隷制や人身売買と真摯に闘う責任を有しています。そのため、Landis+Gyr は、企業活動における奴隷制と人身売買の防止、およびバリューチェーンにおける現代奴隷制の撲滅に取り組んでいます。

「現代奴隷制」という用語は、奴隷制や関連犯罪(強制労働、労働や役務の欺瞞的な募集、強制結婚、債務による拘束、人身売買、臓器売買、最悪の形態の児童労働を含む)などの既存の犯罪を参照することによって定義することができます。後者には、武力紛争に使用するための児童の強制的または義務的な徴用、児童買春、不正な活動への児童の使用、児童の健康、安全、道徳に害を及ぼす可能性のある労働が含まれます。

第三者パートナーは、労働者を人身売買したり、脅迫、強制、強要、拉致、詐欺を用いてその他の方法で労働者を搾取したりしてはなりません。第三者パートナーは、世界中のいかなる施設においても、奴隷労働、囚人労働、年季奉公、拘束労働、またはその他の強制労働を使用してはなりません。労働は自発的なものでなければならず、労働者は合理的な通知によって自由に離職し、雇用状態を終了することができます。第三者パートナーは、雇用の条件として、政府発行の身分証明書、パスポート、または労働許可証の引渡しを労働者に求めてはなりません。

### 4.3. 懲戒慣行

第三者パートナーは、懲戒や統制の手段として、身体的、言語的、心理的な虐待や強要を行ってはならず、またそれを許可してはなりません。これには、暴力の脅し、ハラスメント、または職場や居住施設(後者は第三者パートナーによって提供される場合)への出入りの不当な制限が含まれます。

## 4.4. 労働時間

第三者パートナーは、労働時間数および労働日数を含む労働時間が、適用される現地の法令で定められた上限を超えないよう確保しなければなりません。現地法がない場合、緊急時や異常事態を除き、1 週間の労働時間は時間外労働を含めて週 60 時間を超えてはなりません。労働者は少なくとも 7 日に 1 日の休日を与えられなければなりません。

## 4.5. 賃金と手当

第三者パートナーは、最低賃金、時間外労働時間、その他法的に義務付けられている手当(例: 有給休暇、社会保険料など)に関するすべての適用法令を遵守し、労働者に公正な報酬を支払わなければなりません。

第三者パートナーは、懲戒処分として賃金から控除、保留、または控除もしくは保留の脅迫を行ってはなりません。各賃金支払期間について、第三者パートナーは、労働者に対し、実施された業務に対する報酬の正確さを検証するのに十分な情報を含む、適時かつ理解しやすい賃金明細書を提供するものとします。

派遣労働、臨時労働、外部委託労働の使用はすべて、現地法の範囲内で行われます。

## 4.6. 差別禁止

賃金、昇進、報奨、研修への参加などの採用および雇用慣行において、Landis+Gyr はいかなる差別(人種、肌の色、年齢、性別、性的指向、性自認と表現、民族や国籍、障害、妊娠、宗教、政治的所属、組合への加入、退役軍人の地位、保護される遺伝情報、婚姻状況に関するものを含む)も容認しません。

労働者には、宗教的慣習に対する合理的な配慮が提供されるものとします。加えて、労働者または潜在的労働者に、妊娠検査や処女検査を含む医学的検査や、差別的に使用される可能性のある身体検査を受けさせてはなりません。これは、雇用及び職業についての差別待遇に関する条約(ILO 第 111 号条約)を考慮して起草されました。

## 4.7. 結社の自由

第三者パートナーは、適用法令によって認められるところにより、またそれに従い、労働者が自由に結社する権利、労働者団体に加入する権利、代表を求める権利、団体交渉を行う権利、平和的な集会に参加する権利、またはそのような活動を控える権利を尊重しなければなりません。第三者パートナーは、労働者が差別、報復、脅迫、ハラスメントを恐れることなく、そのような行為に従事できるようにするものとします。

## 4.8. ハラスメント

第三者パートナーは、職場におけるあらゆる形態のハラスメント(セクシャルハラスメントを含む)に対してゼロ容認の方針を運用し、すべての事案を真摯に扱い、ハラスメントのすべての申立てを速やかに調査し、解雇を含む懲戒処分を公正かつ適切に行わなければなりません。

## 5. 安全衛生

第三者パートナーは、労働者に安全で健康的な職場を提供しなければなりません。業務に関連する傷病の発生を最小限に抑えるだけでなく、安全で健康的な職場環境は、製品やサービスの品質、生産の一貫性、労働者の定着率や士気を高めます。

### 5.1. 危険に対するばく露

第三者パートナーは、該当する場合、特に危険な化学物質、生物学的物質、物理的物質など、あらゆる危険への労働者のばく露を特定、評価、制御するものとします。潜在的な危険は、適切な設計、工学、管理上の制御、安全な作業手順、または予防的メンテナンスを通じて排除または制御されなければなりません。そのような手段で危険を適切に制御できない場合、労働者は適切で、よく整備された個人用防護具を提供され、これを使用しなければなりません。

身体的に負荷のかかる作業(手作業による材料の取り扱いや重量物または反復的な持ち上げ、長時間の立ち仕事、反復性が高いまたは力のいる組立て作業を含む)による危険への労働者のばく露が、特定、評価、制御されなければなりません。労働者は、経営陣が懸念事項に適切に対処するまで、報復を恐れずに危険な労働条件を拒否する権利を持たなければなりません。

第三者パートナーはまた、該当する場合、定期的な機械メンテナンスプログラムを実施しなければなりません。生産機械やその他の機械は、安全上の危険がないか定期的に評価されなければなりません(該当する場合)。

### 5.2. 緊急事態への備え

第三者パートナーは、潜在的な緊急事態を特定し、計画を立てるとともに、対応システムを実施し、これについて労働者を研修するものとします。緊急時訓練は、少なくとも年 1 回または現地法で義務付けられる頻度のうち、どちらかより厳しい頻度で実施しなければなりません。緊急時計画には、適切な火災検知および鎮火設備、明確で遮蔽物のない避難口、適切な避難設備、緊急時対応者の連絡先、復旧計画も含める必要があります。このような計画と手順は、生命、環境、財産への危害を最小限に抑えることに重点を置くものとします。

### 5.3. 業務上の傷病

労働者からの報告の奨励、傷病事例の分類と記録、合理的な医療の提供、事例の調査と原因除去のための是正措置の実施、労働者の職場復帰の促進に関する規定を含め、業務上の傷病を予防、管理、追跡、報告するための手順とシステムを整備しなければなりません。

### 5.4. 産業衛生

化学的、生物学的、物理的物質に対する労働者のばく露は、ヒエラルキーコントロールに従って特定、評価、制御されなければなりません(該当する場合)。潜在的な危険が特定された場合、参加者は潜在的な危険を排除および/または低減する機会を探るものとします。危険の除去または低減が不可能な場合、潜在的な危険は、適切な設計、工学、および管理上の制御を通じて制御されなければなりません。そのような手段で危険を適切に制御できない場合、労働者は適切で、よく整備された個人用

防護具を無償で提供され、これを使用しなければなりません(該当する場合)。保護プログラムは継続的で、これらの危険に関連するリスクに関する教育資料を含むものとします。

## 5.5. 身体的に負荷のかかる作業

身体的に負荷のかかる作業(手作業による材料の取り扱いや重量物または反復的な持ち上げ、長時間の立ち仕事、反復性が高いまたは力のいる組立て作業を含む)による危険への労働者のばく露が、特定、評価、制御されなければなりません(該当する場合)。

## 5.6. 機械の保護

生産機械やその他の機械は、安全上の危険がないか評価されるものとします(該当する場合)。機械が労働者に傷害の危険を及ぼす場所では、物理的なガード、インターロック、障壁を設け、適切に維持しなければなりません(該当する場合)。労働者に対しては適切な研修が実施され、すべての生産機械の指示は、労働者が参照できるよう現場に用意されています。

## 5.7. 衛生、食料、住居

労働者は、清潔なトイレと飲料水への合理的なアクセスを提供されなければなりません。第三者パートナーが食堂またはその他の食事施設を提供する場合、それらは衛生的な食品の調理、保管、食事施設を含むものとします。第三者パートナーが労働者に居住施設を提供する場合、清潔で安全な宿泊施設を提供するものとします。そのような居住施設において、労働者は、緊急時の避難口、合理的かつ安全な個人スペース、出入りの権限、入浴のための温水への合理的なアクセス、適切な暖房および換気、ならびに(徒歩で合理的にアクセスできない場合)作業施設までの合理的な往復交通手段を提供されるものとします。

## 5.8. 安全衛生コミュニケーション

第三者パートナーは、該当する場合、労働者がばく露されるすべての特定された職場の危険(機械的、電氣的、化学的、火災および物理的な危険を含むがこれらに限定されない)について、書面による安全衛生情報、および労働者の主要言語による警告を含む、適切な職場の安全衛生情報および研修を労働者が受けることを確保するものとします。安全衛生関連情報は、施設内に明確に掲示するか、または労働者が特定可能でアクセス可能な場所に置かなければなりません。すべての労働者に対して、作業開始前およびその後も定期的に研修が実施されます。労働者は、報復されることなく、あらゆる安全衛生上の懸念事項を申し出るよう奨励されるものとします。

## 5.9. 許可と報告

第三者パートナーは、必要とされるすべての安全衛生許可を取得し、最新の状態に維持し、遵守するものとし、適用される業務および報告要件に従うものとします。

## 6. 環境慣行

第三者パートナーは、適用される法令に従い、環境を保護および維持する方法で製品を提供し、事業運営を行うものとします。

## 6.1. エネルギー管理

第三者パートナーは、エネルギー消費を節約し、関連する環境、経済、エネルギー供給安全保障への影響を低減するため、体系的なアプローチを実施するものとします。製品の製造または供給における環境条件を損なうことなく可能な場合（該当する場合）、第三者パートナーは、エネルギー効率を改善し、エネルギー消費を最小限に抑えるための費用対効果の高い方法を実施するものとします。

## 6.2. 水管理

第三者パートナーは、業務によって発生する廃水を特定、制御、削減し、雨水流出による汚染を防ぐための体系的なアプローチを実施するものとします。

## 6.3. 廃棄物管理

第三者パートナーは、該当する場合、有害および非有害廃棄物を特定、管理、削減し、責任をもって廃棄またはリサイクルするための体系的かつ持続可能なアプローチを実施するものとします。

第三者パートナーは、該当する場合、化学物質や材料、特に有害廃棄物として指定された材料の表示、リサイクル、廃棄に関して、適用されるすべての法令を遵守しなければなりません。有害廃棄物とは、第三者パートナーが廃棄する、または廃棄を意図する、または廃棄を要求される物質や物体で、爆発性、酸化性、刺激性（皮膚刺激や眼障害を引き起こす可能性がある）、有毒性、発がん性、腐食性、感染性、生殖毒性、感作性のうち1つまたは複数の性質を示すものを指します。

## 6.4. 排出と汚染防止

第三者パートナーは、施設、メンテナンスおよび生産プロセスにおいて適切な保全措置を実施し、材料のリサイクル、再利用、代替を行うことで、あらゆる種類の廃棄物を削減または排除するよう努めなければなりません。汚染物質の排出や放出、廃棄物の発生は、発生源において最小化されるか、可能であれば排除されなければなりません。

事業から発生する揮発性有機化学物質、エアロゾル、腐食剤、微粒子、オゾン層破壊化学物質、燃焼副産物の大気排出は、放出前に特性把握し、定期的に監視、制御し、必要に応じて処理しなければなりません。第三者パートナーは、該当する場合、大気排出制御システムの性能の定期的なモニタリングを実施するものとします。

## 6.5. 地域社会に悪影響を及ぼさない

第三者パートナーは、水、化石燃料、鉱物、原生林産物を含む天然資源の使用を節約し、施設周辺の地域社会と環境を保護するものとします。節約が不可能な場合、第三者パートナーは、生産方法の変更、メンテナンスおよび施設プロセスの更新、材料の代替、再利用、節約、リサイクル、またはその他の手段などの代替慣行を検討するものとします。

## 6.6. 環境許可と報告

第三者パートナーは、該当する場合、必要とされるすべての環境許可、承認、登録を取得し、最新の状態に維持し、適用される業務および報告要件を遵守しなければなりません。

## 6.7. 材料の制限

第三者パートナーは、リサイクルおよび廃棄に関する表示を含め、製品および製造における特定物質の禁止または制限に関して、適用されるすべての法令および顧客要件を遵守しなければなりません。

## 7. 倫理

第三者パートナーは、すべての事業取引において最高水準の誠実さを維持し、あらゆる形態の非倫理的な事業慣行に関して、ゼロ容認の方針を持つことが期待されます。

### 7.1. 公正な事業、広告、競争

第三者パートナーは、広告、販売、競争において公正な事業基準を保持しなければなりません。

### 7.2. 不適切な利益の禁止

汚職、恐喝、横領、および／または違法もしくは非倫理的な利益の供与は、いかなる形態や方法であっても固く禁止されます。第三者パートナーは、賄賂または不当もしくは不適切な利益を得るその他の手段を提供または受領してはなりません。この禁止は、直接的または第三者を介して間接的に、事業を獲得または保持するため、事業を誰かに誘導するため、その他の不適切な利益を得るために、有価物を約束、提供、許可、贈与または受領することを対象とするものです。腐敗防止法の遵守を確保するため、モニタリングおよび執行手順を実施しなければなりません。

### 7.3. 情報開示

すべての事業取引は透明性をもって行われ、第三者パートナーの帳簿および記録に正確に反映されなければなりません。参加者の労働、安全衛生、環境慣行、事業活動、構造、財務状況、および業績に関する情報は、適用される規制および一般的な業界慣行に従って開示されなければなりません。記録の改ざん、バリューチェーンにおける条件や慣行の虚偽表示は容認できず、取引関係の終了につながる可能性があります。

### 7.4. 身元の保護と報復禁止

第三者パートナーは、管理者と労働者が職場の苦情を報告するための匿名の苦情処理メカニズムを提供し、法律で認められている場合は、内部告発者の機密を保護しなければなりません。第三者パートナーは、苦情が誠実に伝えられた場合、報復を禁止しなければなりません。さらに、第三者パートナーの労働者は、Landis+Gyr に対して、外部のスピークアップおよび内部告発のチャネルを通じて懸念事項を述べる自由があります。

### 7.5. 知的財産

第三者パートナーは、知的財産権を尊重し、すべての利害関係者情報(顧客、サプライヤーおよび従業員を含む)を保護することが期待されます。したがって、第三者パートナーは、知的財産権を保護する方法で技術を管理し、情報を処理しなければなりません。

## 7.6. プライバシー

第三者パートナーは、適用されるデータ保護法を遵守し、第三者の侵害および／または不適切な使用から保護される方法で、個人データを取得、処理、移転、保存することに同意します。このような個人データは、適用される現地法で規定されている場合を除き、データ主体の十分に情報を与えられたうえでの同意なしに開示してはなりません。

## 7.7. 責任ある鉱物調達

深刻な人権侵害の加害者である武装集団への直接的または間接的な資金提供を回避するため、第三者パートナーは、コバルト、タンタル、スズ、タングステン、金を、紛争がないことが確認された調達先から調達するための方針を採用し、システムを確立しなければなりません。第三者パートナーは、そのような方針が遵守されていることを確保するためのデューデリジェンス手順を実施し、要請に応じて、そのようなデューデリジェンス措置を顧客に提供しなければなりません。

## 8. 情報セキュリティ

Landis+Gyr では、すべての企業、顧客、サプライヤー、パートナーの情報に対して、最高水準の情報セキュリティを保持することに取り組んでいます。したがって、第三者パートナーは、Landis+Gyr と合意した特定の契約上の義務だけでなく、第三者パートナーが事業を行う地域のすべてのセキュリティ法を遵守しなければなりません。

### 8.1. セキュリティガバナンス

第三者パートナーは、IT および情報セキュリティに関して、組織内で明確に定義された役割、責任および説明責任を確立するものとします。第三者パートナーは、正式な書面による情報セキュリティ方針、基準、およびプロセスを策定し、維持するものとします。

### 8.2. 研修

情報の保護に取り組むため、社内の各個人が情報の保護とセキュリティ確保に重要な役割を担っています。したがって、第三者パートナーは、(1)全従業員に対し、情報セキュリティに関する意識向上のための研修を毎年実施し、(2)経営陣、従業員、代理人、請負業者、ならびに IT インフラおよび／または関連情報システムにアクセスできるその他の個人に対し、定期的かつ継続的な研修を実施し、(3)関連する場合、第三者パートナーは Landis+Gyr との契約条項に関連する特定の情報セキュリティ研修を提供するものとします。

### 8.3. コンプライアンスのモニタリングと文書化

情報セキュリティガバナンスの有効性を確保するため、Landis+Gyr は、第三者パートナーがプライバシーおよび情報セキュリティの基準や規制を遵守しているかどうかを測定するため、第三者パートナーに自己評価を実施するよう要請する権利を留保します。さらに、Landis+Gyr は、本規範に記載されている原則に合致していることを確認するため、第三者パートナーのデータセキュリティシステムおよび手順の監査を開始することができます。



適用法令上の制約を遵守するため、第三者パートナーは、書面による要請があった場合、本セクションに概説されている第三者パートナーの情報セキュリティ慣行に関する包括的な文書を Landis+Gyr に提供する義務があります。

## 8.4. 侵入検知と対応

第三者パートナーは、業界のベストプラクティスに沿った適切な技術的および組織的セキュリティ措置を実施するものとします。これらの措置は、第三者パートナーが保有する Landis+Gyr のデータの不正または違法な処理を保護するのに役立ちます。さらに、これらの措置は、Landis+Gyr のデータの偶発的な滅失、破壊、改ざん、開示または毀損に対する保護を提供します。

第三者パートナーはまた、不正な情報開示の事実または合理的な疑いを検知、監視、文書化、対応するための包括的な方針と手順を維持することが求められます。さらに、第三者パートナーは、事故報告の文化を醸成することが奨励されます。第三者パートナーは、自身または Landis+Gyr の顧客、パートナー、他のサプライヤーの情報に関する侵害が判明した場合またはその疑いがある場合、Landis+Gyr の最高セキュリティ責任者に、Landis+Gyr のウェブサイト上の公開オンラインチャネルを通じてまたは専用の電子メールアドレス (CyberSecurity@landisgyr.com) を使用して、速やかに通知しなければなりません。

## 8.5. 事業継続と災害復旧

第三者パートナーは、契約の成果物をサポートする事業継続計画および災害復旧計画を維持し、毎年テストするものとします。

## 9. 管理システム

第三者パートナーは、本規範および適用法令の遵守を奨励し、関連する業務リスクを特定および軽減し、継続的な改善を促進するための管理システムを確立するものとします。

### 9.1. 企業の取り組み

第三者パートナーは、コンプライアンスと継続的改善に対するサプライヤーの取り組みを確認する、企業の社会的、倫理的、環境的責任に関する声明を策定するものとします。

### 9.2. 経営陣の説明責任と責任

第三者パートナーは、第三者パートナーの管理システムの実施と定期的な状況確認に責任を持つ企業の代表者を明確にするものとします。

### 9.3. 法的要件と顧客要件

第三者パートナーは、適用法令および本規範が課す追加的なガイドラインを特定し、監視し、理解するためのプロセスを策定し、実施しなければなりません。

## 9.4. リスク評価と管理

第三者パートナーは、業務に関連する環境、安全衛生、労働慣行のリスクを特定するプロセスを策定し、各リスクの相対的な重要性を判断し、特定されたリスクを制御するために、規制遵守を確保するための適切な手順と制御を実施しなければなりません。安全衛生のためのリスク評価には、倉庫および保管施設、工場および施設支援機器、研究室および試験場(該当する場合)、浴室、厨房、食堂を含めなければなりません。

## 9.5. 改善目標

第三者パートナーは、第三者パートナーの社会的、倫理的、環境的パフォーマンスを改善することを目的とした、書面による基準、パフォーマンス目標、ターゲットおよび実施計画(これらの目標に対する第三者パートナーのパフォーマンスの定期的な評価を含む)を策定するものとします。

## 9.6. コミュニケーションと研修

第三者パートナーは、方針、慣行、期待、パフォーマンスに関する明確で正確な情報を、労働者、顧客、自身のバリューチェーンに伝達するためのプロセスを策定し、実施しなければなりません。第三者パートナーはまた、第三者パートナーの方針、手順、改善目標の実施を支援し、適用法令上の要件を満たすために、取締役、管理職、その他の労働者に対して適切な研修プログラムを提供するものとします。

## 9.7. 労働者のフィードバックと参加

第三者パートナーは、本規範の原則に関連するプロセスや慣行に関するフィードバックを入手し、継続的な改善を促進するための継続的なプロセスを策定し、実施するものとします。

## 9.8. 監査と評価

第三者パートナーは、社会的および環境的責任に関連する法令上の要件、本規範の内容、およびパートナーとの契約上の要件に適合していることを確保するため、定期的な自己評価を実施するものとします。第三者パートナーは、Landis+Gyr からの要請に応じて、検査の目的で、そのような監査の報告書の写しを提供しなければなりません。

## 9.9. 是正措置プロセス

第三者パートナーは、内部または外部の監査、評価、検査、調査またはレビューによって特定された不備を適時に検知し、調整するためのプロセスを策定し、実施するものとします。

## 9.10. 文書と記録

第三者パートナーは、規制の遵守と本規範の原則への適合を確保するような方法で、文書記録を作成し、維持するものとします。